

令和2年度第3回秋田市廃棄物減量等推進審議会議事録(概要)

- 1 開催日時 令和2年11月24日(火) 午前10時から午前10時45分まで
- 2 会場 秋田市役所5階 第3・第4委員会室
- 3 出席者
 (1) 委員 柴山敦会長、西川竜二委員、安宅英男委員、伊澤整委員、石郷岡誠委員、佐々木文勝委員、長谷川瑞子委員、橋野茂子委員、菅原フサ子委員、川越政美委員、今野真人委員、戸崎正之委員、佐藤英明委員
 (15人中13人出席)
- (2) 事務局 佐藤環境部長、石井環境部次長、高橋環境都市推進課長、水戸瀬総合環境センター参事ほか6名
- 4 議事概要 以下のとおり

発言者	発言要旨
会長	第3回の審議会では、答申(案)について委員から意見や質問等をお願いしたい。 それでは資料1、2について事務局からの説明を求める。
事務局	(資料1、2について説明)
会長	ただいまの説明について質問等はないか。
委員	別紙の6番に「手数料の減額については、現在のところ考えておりません」とあるが、ごみが減量した分の費用が掛からなくなるので、その分を有効活用しているということはないのか。
事務局	ごみの排出量が減る分、溶融時の燃料の消費量等は減るが、燃料単価や人件費の上昇により、全体の経費削減には至っていない。 一般財源の中の経費なので、市全体として見れば削減される分は有効活用されることになるが、環境部に限った話ではないので、計画に盛り込むことは考えていない。
委員	秋田市の人口が減っても世帯数は減っていないと思う。燃やされるごみの排出量削減にどのように取り組むのか。
事務局	人口が減っているので、家庭ごみの総排出量は減少傾向にあるが、市の考えとしては、資料2の11ページに記載してあると

り、本市の処理施設の現状やリサイクル技術の進展、分別に伴う市民負担等を総合的に勘案し、新たなリサイクルルートの研究を進めることとしており、国の動きや技術の進展によりリサイクルできるものが増えれば、燃やされるごみは減るので、そうした取組を継続していきたい。

会長 別紙の意見に対する考え方は適切に回答できていると思う。その中で、家庭ごみの処理手数料を減らしてほしいとの意見が出ているが、こうした意見は多いのか。

事務局 有料化当初はいくらか寄せられていたが、ここ数年では多いという訳ではない。
パブリックコメントを毎年行っている訳ではなく、平成29年の審議会の際にもいくらか意見が寄せられたが、多い意見という訳ではない。

委員 資料2の23ページのグラフについて、リサイクルA、リサイクルBという表記ではなく、括弧で囲っている説明書きを矢印の後に直接記載した方がわかりやすいのではないかと。
また、別紙の5番にスラグ・メタルの用語解説があるが、単なる説明だけでなく、それらがどのように生活に役立っているのかを市民に知ってもらう必要があると思うので、答申（案）に盛り込むほどではないが、機会を捉えて普及・啓発してほしい。

事務局 リサイクル率の表記の仕方については検討したいと思う。
また、スラグ・メタルの活用については、イベント等を通じて丁寧に説明していきたい。

委員 資料2の21、23、24ページのグラフについて、例えば21ページのグラフだと、縦の目盛りを750gで区切ると変動が大きくなり、インパクトがあって見やすくなると思うので、修正してはどうか。

事務局 ご指摘を踏まえ修正する。

委員 環境教育について、山形県では幼稚園や保育園に食品ロスの紙芝居を配布していると聞いた。
秋田市では学校の副読本になっていると思うが、幼稚園児等に対する環境教育はどのように行うのか。

事務局 食品ロスを含め、小さい頃からの環境教育は大事だと思う。

10月18日に食品ロスに関するイベントを実施したが、その際に、幼稚園、保育園に対して、食品ロスに関する啓発の塗り絵を書いてもらうなどの取組を行っており、今後も小さい頃からの環境教育を継続していきたい。

委員

別紙の12番に、なにげなくごみを捨てていたが、家庭ごみが減っていない数字を見て、毎日の生活を改めたとある。

平仮名で「ごみ」と表記されているが、「美を護る」という意味で「護美」という表記に変えると、日々の意識が変わるのではないかと思うがどうか。

事務局

計画に記載する際は、正しい日本語ということで平仮名表記とするが、イベント等でふさわしい表記があれば検討していきたい。

委員

資料2の17ページに施設の写真が載っているが、ごみ処理に関する理解を得るための見学会などを実施しているのか。

事務局

総合環境センターでは見学の受け入れを随時行っており、昨年度は約4,000～5,000人の方を受け入れた。

委員

資料2の40ページの(4)に適正排出の推進および不法投棄の防止について記載があるが、実態があまり見えないように感じる。

今回の計画にあまり関わりがないかもしれないが、実際のコスト等が分かれば啓発に使えるかもしれないので、データを教えてほしい。

また、資料2の24ページの2行目に「大きく減少していることに加え」とあるが、「大きく減少していることに加え」の間違いだと思われるので、修正してはどうか。

事務局

不法投棄等に関する詳細のデータは持ち合わせていないが、不法投棄の件数が10年前の100件超から、現在は40～50件程度に減少しており、これまでのパトロールや啓発活動の成果と捉えている。

また、資料2の24ページの部分については、ご指摘のとおり修正する。

委員

資料2の27ページのグラフについて、元年度の1tあたりのごみ処理経費は24,139円と記載してあるが、同ページの五行目では24,136円となっており、どちらが正しいのか。

また、同ページの最後に「※令和元年度のごみ処理経費は、

見込みの数値」とあるが、まだ見込みのままなのか。

事務局 ごみ処理経費については、確認した後、正しい数字で記載する。

また、「※令和元年度のごみ処理経費は、見込みの数値」の記載については、中間答申からの削除漏れのため、答申では削除する。

会長 ほかに意見がないようであれば、意見・質問については以上とする。

これまでの議論で、答申（案）に対する根本的な反対意見はなかったかと思うが、本日出された意見に対する答申（案）の修正については会長と事務局に一任という形で問題ないか。

委員 （委員から異議なし）

会長 審議会後、お気付きの点があれば、事務局に連絡をお願いします。

それでは次第の3、その他について何かあるか。

事務局 今後の対応について、会長と事務局に一任となったため、事務局で修正した答申を会長に確認していただくこととする。

会長 最後に確認として、答申については年内に出されると思うが、今後のスケジュールはどうか。

事務局 答申については年内にまとめる予定である。

計画の見直しについては、上位計画である総合計画と整合を取った後、改正・告示する予定としている。

会長 答申についてはまとまった段階で委員にお知らせするのか。

事務局 まとまった段階で、議事録の確認と一緒に送付させていただく。

会長 それでは進行を事務局にお返しする。

事務局 最後に、委員の任期が来年1月末までとなっているため、今後、所属団体等に対して委員の推薦依頼を送付させていただくので、御協力をお願いします。